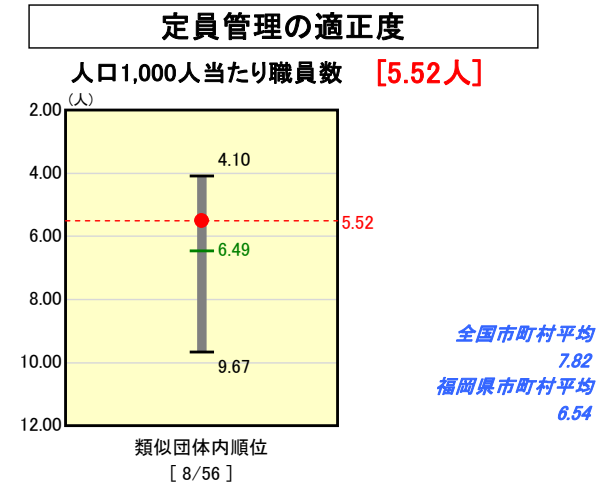
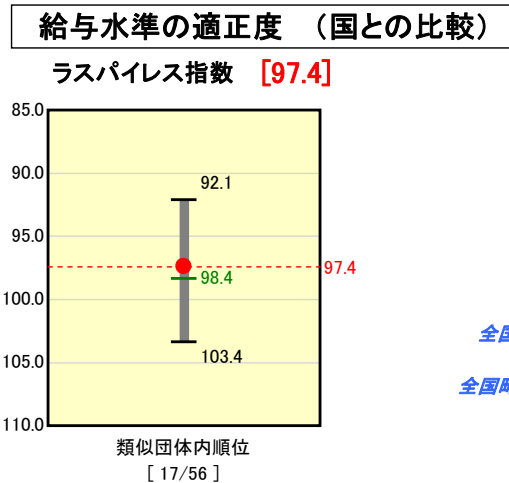
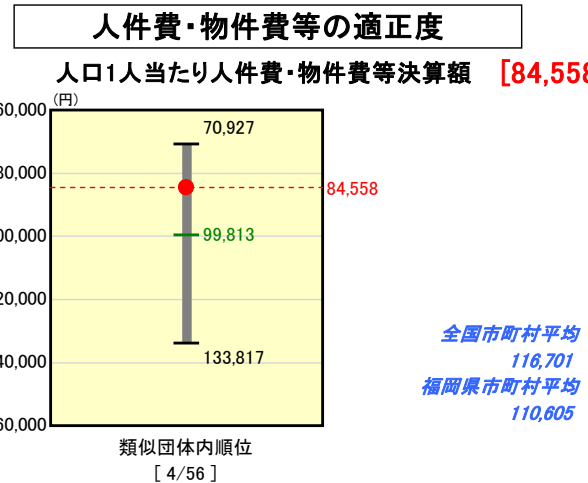
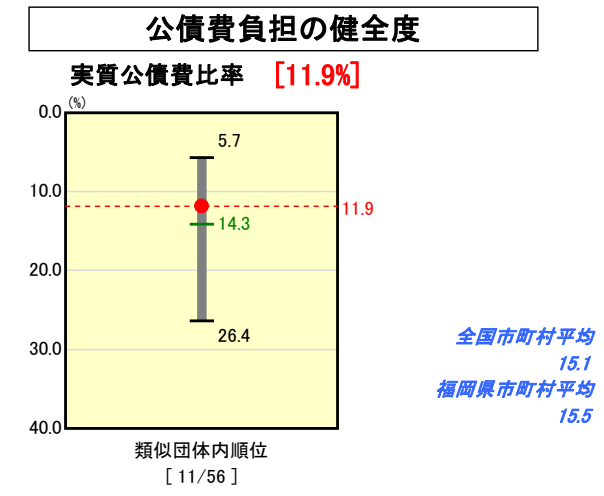
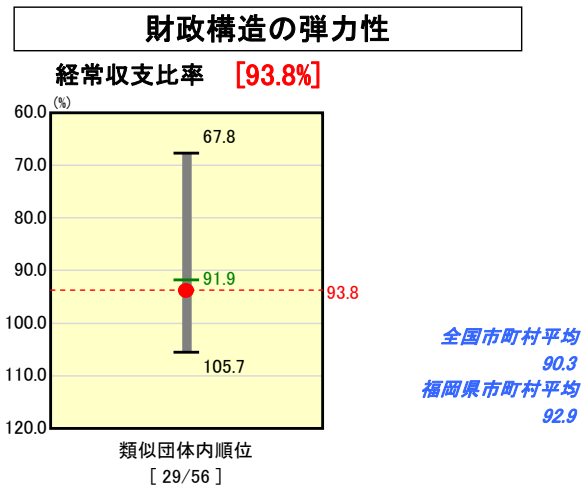
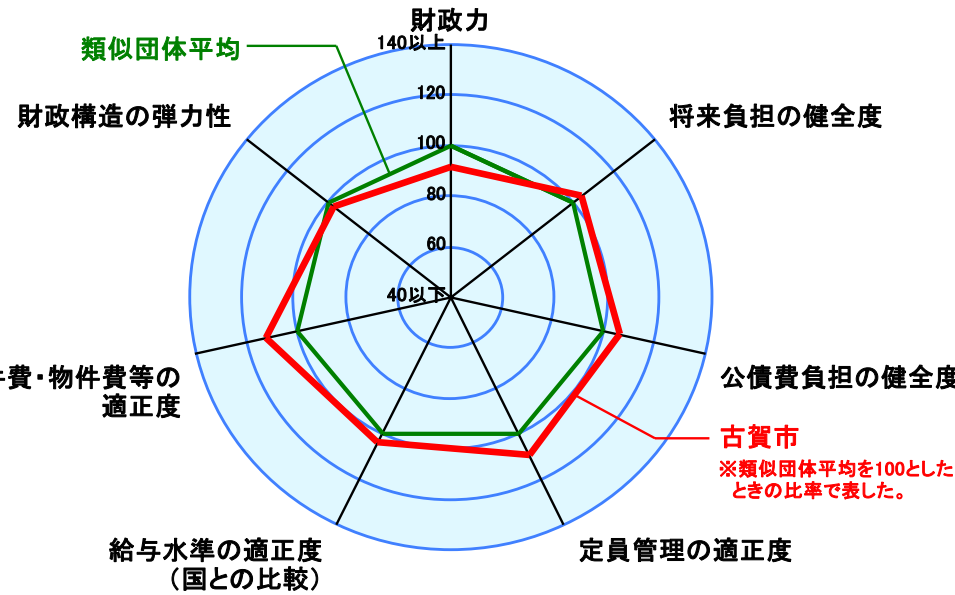
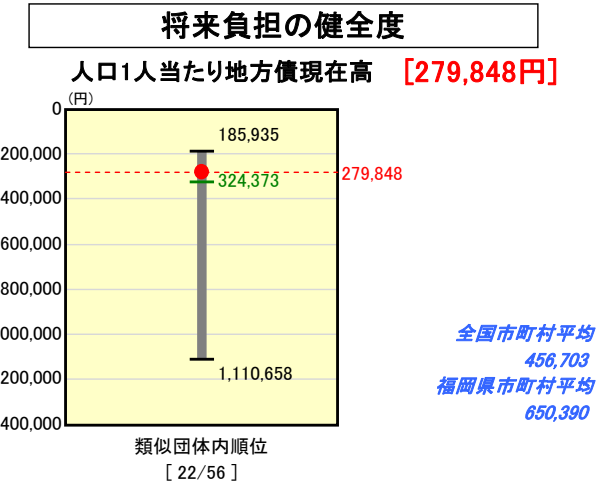
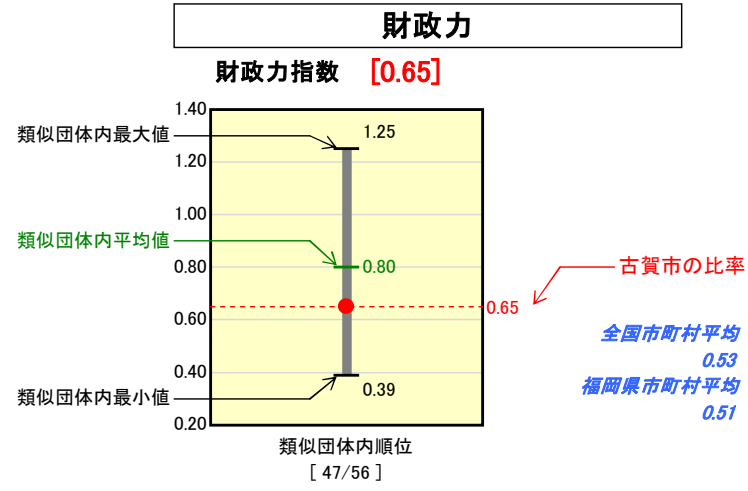


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 古賀市

人口	56,930人	(H19.3.31現在)
面積	42.11	km ²
歳入総額	16,363,922	千円
歳出総額	15,886,569	千円
実質収支	444,826	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
近年微増傾向であるが、類似団体の平均を下回っていることから、今後、事務・事業の再編・整理、廃止・統合を進めていき、真に必要な事務・事業を見極め、経営資源を有効に配分していくよう努める。また、近年の景気の低迷により、税等の徴収率を上げることが難しくなっていることから、平成16年度から徴収専門の課(収税課)を設置し、徴収強化に努めている。さらに、新たな税源確保として、企業誘致や税の適正化について再検討を行い、自主財源の確保に最大限努める。

○経常収支比率
近年扶助費の断続的な増加等により90%を超える危機的状況にあることから、現在導入している枠配分予算を継続的に行うことによりさらなる歳出抑制に努めるとともに、平成17年度補助金等検討委員会提言に基づき、平成18年度から平成20年度までの3年間で、各種団体等に対して段階的に補助金の廃止・縮減を行う。

○人口1人当たり人件費・物件費等の決算額
類似団体の平均を大きく下回っているが、今後とも民間委託等の推進、職員OB等の活用などにより退職者不補充による職員数の削減を図り、人件費・物件費総額の抑制に更に努める。

○ラスパイレース指数
類似団体の平均を若干下回っている。今後も国家公務員の給与に準拠すること等を基本に置きながら社会情勢に見合うよう給与体系の見直しを行い、適正化に努める。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体の平均を若干下回っており、近年は微減傾向にある。今後も投資的事業について一層精査することにより計画的な起債発行を行い、将来にわたる急激な負担増とならないように努める。

○実質公債費比率
昨年より伸びているが、類似団体の平均は下回っている。今後も投資的事業について一層精査することにより計画的な起債発行を行い、適正な水準確保に努める。

○人口1,000人当たり職員数
近年減少傾向にあり、類似団体の平均も大きく下回っている。今後も事務・事業の再編・整理、民間委託等の推進、職員OB等の活用などにより退職者不補充による職員数の削減を図り、平成23年4月1日における正規職員数を、平成19年4月1日時点(363人)から13人以上削減し、350人以下とする予定である。